

校長挨拶

新潟県立国際情報高等学校長 佐藤 一彦

本校のSGH事業は平成29年度で3年目になります。グローバル社会を生き抜くために必要とされる能力は「21世紀型スキル」と言われ、Critical thinking(批判的思考)、Creativity(創造力)、Communication(コミュニケーション)、Collaboration(協働)などと定義されています。本校のSGH事業は生徒一人一人に対してこれらの知識や技能等を育成することに力を入れています。



平成27年度指定校56校に対する文部科学省の中間評価が平成29年9月29日(金)に公表されました。本校は6段階のうちの上から3段階目に位置づけられ、「これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が概ね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる。」とされました。

本校に対する文部科学省の講評は「地域のテーマを取り上げ、教員側が経常的に進捗状況を把握できる規模での研究が行われている点や大学・企業等との連携も日常的に指導・助言を受けられる関係となっている点が評価できる」というものです。国際大学、明治大学、南魚沼市役所、同市教育委員会、そして各企業・団体の皆様から多大なご支援とご協力をいただき、また、生徒が期待に応じて活動した結果であります。一方で、文部科学省からは評価について「成果が明確になるような工夫」を求められました。eポートフォリオを用いた主体的学習と多面的評価について、今春から専門家の力をお借りして共同研究に取り組んでおり、評価に係る課題を解決することで、さらに高い評価を目指し、生徒がSGH活動を終えたあと、満足感や達成感を一層得られるように取り組んで参ります。

SGH通信第4号は、平成29年4月から9月までに本校が実施してきた活動の概要です。全校体制で取り組むSGH活動について、各学年が取り組んできたことがお分かりになることと思います。ご一読いただければ幸いです。

1 6月26日(月)にSGH報告会を開催

第1部は、国際大学理事長の檜田松瑩様から、グローバル人材とは、国境、民族、宗教、文化、言語を越えて人として信頼される人材のことで、そのためには、どう生きていくかという視点でお話をさせていただきました。



演題は、「グローバル人材とは」で、「グローバル人材」について、非常に分かりやすくご講演いただきました。

第2部は、2年生の2グループが発表しました。一つは、スイカと蕎麦という魚沼の特産品の2つを使って世界の貧困地域を助けるというもので、もう一つは、魚沼の除雪問題の解決を目指すというものです。いずれも、2年生らしい斬新な内容でした。3年生からは、2人が英語で発表しました。一つは、アフリカ・レユニオン島に植林されている日本杉と和紙をコラボレーションさせて、島の貧困率を改善しようというもので、もう一つは、「天体観測会」を利用した地域おこしによってドイツの人口減少や難民問題の解決を提案したものです。その後、3年生がファシリテーターとなり、4人の生徒が「国際情報校でのSGH活動を通して」という題で、パネルディスカッションを行いました。

当日は運営指導委員、高等学校教育課指導主事を始めとする地域、保護者の皆様等県内外から併せて76人の方からお越しいただきました。



運営指導委員の先生から講評をいただきました。



代表生徒による全体発表。ユニークな発表がありました。

## 2 本年度前期までの取組

本校のSGH活動は、3つの活動に大別されます。一つは、KJ-CT（KJクリティカルシンキングプログラム）、そして、もう一つは、魚沼学①・魚沼学②です。前期に1年生は、KJ-CTを、2年生は、魚沼学②を行ってきました。それらの活動を報告します。

### (1) KJ-CTプログラムの実施(KJクリティカルシンキングプログラム)

1年生は、KJ-CTプログラムを行ってきました。このプログラムのねらいは、物事に対するクリティカルな思考方法（物事や情報を無批判に受け入れるのではなく、さまざまな角度から検討し、論理的・客観的に理解すること）や分析方法を学ぶことです。具体的には、企業から与えられた課題に対して解決策を示すというものです。協力大学である国際大学にアンケートを取りに伺いました。本年度は「NTTドコモ」「クレディセゾン」「大和ハウス」「テレビ東京」「パナソニック」「富士通」の各企業様から課題をいただきました。そして、グループに分かれてその課題の解決案の作成に取り組みました。7月31日（月）、8月1日（火）に実施した東京研修で中間発表を行い、課題を出されている企業の方や明治大学の学生の皆様に対して自分たちの考えた企画をプレゼンテーションしてきました。この



ブレストを行う様子。こうした活動を通じて「課題」の核心に迫ります。



国際大学でのアンケートの様子。外国人へのアンケートを英語で行うことも経験しました。

取組については9月8日（金）に最終発表を行いました。ここで培ったクリティカルな思考方法等をこの後の魚沼学①に応用していきます。

## (2) 魚沼学②

### ① 他校との交流活動 ～善光寺グローバルサミット～



2年生の代表者2名が7月6日(木)、7日(金)に、長野県長野高等学校が主催する善光寺グローバルサミットに参加してきました。他県のSGH校と交流・ディスカッションをし、本校での取組についても紹介してきました。他校の生徒と積極的に交流し、実りの多い研修となりました。

**真剣な面持ちで他校の生徒とディスカッションしています。**

### ② フィールドワークの実施

2年生は、現在、魚沼学②にチャレンジしています。「魚沼」の課題解決をし、世界の課題解決につなげる探究を行っています。世界の課題と結びつける具体的な目標として、国際連合が題している「SDGs」(持続可能な開発目標)に着目しています。8月には、南魚沼市役所、地元の企業や新潟大学、長岡技術科学大学の研究室等に自分たちのアイデアや探究結果について指導を受けるため、フィールドワークに行ってきました。実社会とつながることによって、より具体的で現実的な課題解決を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



**企業の方から講義を受けています。**



**実際の農業の現場、ブドウ農園で作業しました。**

### 3 今後の活動予定

12月8日(金)に「SGH成果発表会」を開催します。この発表会は、本年度に取り組んで来た成果のすべてを発表する会です。運営指導委員の皆様をはじめとし、フィールドワークでお世話になった企業等の皆様、そして、全国のSGH指定校、アソシエイト校など県内外からゲストをお呼びして開催します。ぜひ成果発表会をご観覧の上、ご指導、ご助言賜りますようよろしくお願いいたします。また、1年生は、魚沼学①の集大成として、平成30年3月に、アメリカ、オーストラリア及びシンガポール・マレーシアへ海外研修に行き、現地で英語によるプレゼンテーションを行う予定です。こちらの活動も本校のSGH事業の中心的活動の一つです。



**左は成果発表会、右はSGH海外研修(タイ)の様子です。どちらも平成28年度のものです。**